

RAPIDWeekly Report on Aomori Prefecture Infectious Disease

青森県感染症発生情報

(2016年第31週)

発行 青森県感染症情報センター(2016 年8月 12 日)

(青森県環境保健センター:担当 微生物部)

TEL 017-736-5411, FAX 017-736-5419

http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/kansen.html

[第31週の発生動向(2016/8/1~2016/8/7)

- 1. 伝染性紅斑については、東地方保健所+青森市保健所管内において警報が続いています。
- 2. **八戸保健所管内**では、引き続き**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**の定点当たり患者報告数が多い状態が続いています。
- 3. **ヘルパンギーナ**については、**弘前保健所、八戸保健所、五所川原保健所、むつ保健所管内**で定点当たりの患者報告数が**増加**し、青森県全体の定点当たり患者報告数は、前週の 0.79 から 1.00 に増加しました。

Ⅱ 第31週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

			東青		中南		三八	Ī	西北	_	上北		下北			
			方保健所・ 片保健所)	(弘前	「保健所)	(八戸	保健所)	(五所川	原保健所)	(上十	三保健所)	(tr-	保健所)	青森	県 計	前週から の増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ															0
	RSウイルス感染症	1	0. 13	1	0.11	10	1.00			2	0. 33			14	0.33	7
	咽頭結膜熱	4	0. 50	2	0. 22	4	0.40			2	0. 33	2	0.50	14	0.33	1
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	0. 38	6	0. 67	48	4. 80			1	0. 17	1	0. 25	59	1.40	-5
	感染性胃腸炎	32	4. 00	19	2. 11	32	3. 20	11	2. 20	3	0.50	5	1. 25	102	2. 43	6
小	水痘					1	0.10	2	0.40	1	0. 17	3	0. 75	7	0.17	-2
児	手足口病			3	0. 33	1	0.10			4	0. 67			8	0.19	3
科	伝染性紅斑	10	1. 25			1	0.10							11	0. 26	-5
	突発性発しん	3	0. 38	4	0.44	6	0.60			1	0. 17	4	1.00	18	0.43	0
	百日咳															-1
	ヘルパンギーナ	10	1. 25	14	1.56	8	0.80	1	0. 20	6	1.00	3	0. 75	42	1.00	9
	流行性耳下腺炎	8	1.00	3	0. 33	2	0. 20	1	0. 20	1	0. 17	2	0.50	17	0.40	-3
眼	急性出血性結膜炎															0
科	流行性角結膜炎	2	1.00			4	2.00							6	0.55	-1
	クラミジア肺炎															0
基	細菌性髄膜炎															0
幹	マイコプラズマ肺炎							1	1.00			2	2.00	3	0.50	1
* T	無菌性髄膜炎															-1
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)									1	1.00			1	0.17	1

Ⅲ 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

・結核(二類全数把握疾患):東地方+青森市2人、弘前1人

・劇症型溶血性レンサ球菌感染症(五類全数把握疾患):弘前1人

· 侵襲性肺炎球菌感染症(五類全数把握疾患): 東地方+青森市2人

は警報、 は注意報。「空欄」:患者報告無し。

(2016年計:178人) (2016年計:2人)

(2016年計: 6人)

IV 病原体検出情報

病原体検出情報はありませんでした。

感熱症の窓

ヘルパンギーナ(五類定点把握疾患)

ヘルパンギーナは、夏期に流行する小児の急性ウイルス性咽頭炎で、いわゆる「夏かぜ」の代表的疾患です。その大多数はエンテロウイルス属、流行性のものは特にA群コクサッキーウイルスの感染によるものが多く、発熱と口腔粘膜にあらわれる水疱性発疹を特徴とします。

患者の年齢は4歳以下がほとんどであり、1 歳代が最も多くなっています。

国立感染症研究所の速報データによると、全



青森県のヘルパンギーナ 定点当たり患者報告数 (保健所別)(2016年)

国の定点あたり患者報告数は第29週(7月18日~7月24日)が3.52、第30週(7月25日~7月31日)が3.85と定点当たり報告数が多い状態が継続しています。 国内での流行は例年西から東へと推移するとされており、現在、県内では東地方+ 青森市保健所管内、上十三保健所管内を除く各保健所管内で増加傾向にあることから、今後の発生動向に注意が必要です(上図)。予防には、手洗い、うがいを励行することが重要です。詳しくはこちらをごらんください→国立感染症研究所

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況 (2016 年第 21 週~2016 年第 31 週)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
21	H28.5.23 ~ H28.5.29			A型肝炎1人 つつが虫病1人		侵襲性肺炎球菌感染 症1人	
22	H28.5.30 ~ H28.6.5						
23	H28.6.6 ~ H28.6.12			後天性免疫不全症候 群1人			
24	H28.6.13 ~ H28.6.19	腸管出血性大腸菌感 染症1人	腸管出血性大腸菌感 染症1人			つつが虫病2人	
25	H28.6.20 ~ H28.6.26			梅毒1人			
26	H28.6.27 ~ H28.7.3					レジオネラ症1人	
27	H28.7.4 ~ H28.7.10		梅毒1人			水痘(入院例)1人	
28	H28.7.11 ~ H28.7.17		クロイツフェルト・ヤコ ブ病1人				
29	H28.7.18 ~ H28.7.24	カルバペネム耐性腸内 細菌感染症1人	E型肝炎1人	梅毒1人			
30	H28.7.25 ~ H28.7.31		つつが虫病1人				水痘(入院例)1人
31	H28.8.1 ~ H28.8.7	侵襲性肺炎球菌感染 症2人	劇症型溶血性レンサ球 菌感染症1人				

VI 結核(二類全数把握疾患) (2016 年第 21 週~2016 年第 31 週)

(人)

				· 1 / 10 - 1 / C				
			東青	中南	三八	西北	上北	下北
週	期間		(東地方保健所· 青森市保健所)	(弘前保健所)	(八戸保健所)	(五所川原保健所)	(上十三保健所)	(むつ保健所)
21	H28.5.23 ~	H28.5.29		1	3		2	
22	H28.5.30 ~	H28.6.5	1	3		1	2	
23	H28.6.6 ~	H28.6.12	2	1	1			
24	H28.6.13 ~	H28.6.19	2		2	1		1
25	H28.6.20 ~	H28.6.26	1	6	2			
26	H28.6.27 ~	H28.7.3	1	3	4		1	
27	H28.7.4 ~	H28.7.10	1	3	1	2	2	
28	H28.7.11 ~	H28.7.17	2	1		2	1	
29	H28.7.18 ~	H28.7.24		4	2	2		
30	H28.7.25 ~	H28.7.31	1		1	2	1	
31	H28.8.1 ~	H28.8.7	2	1				

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注:発生状況は**速報値**であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

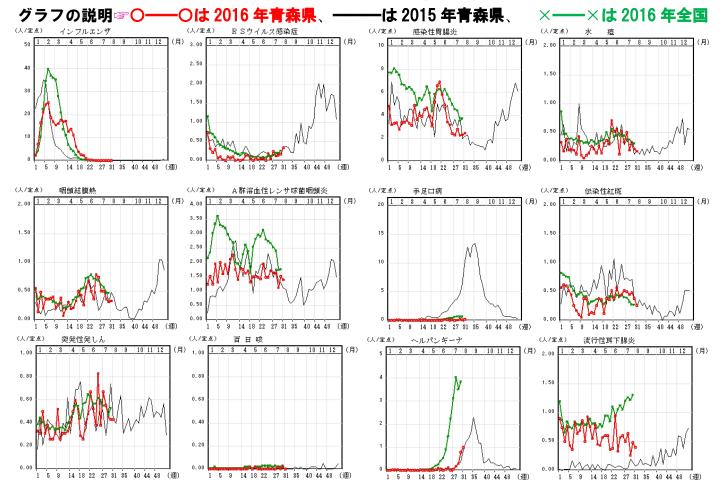
全国 (2016 年第 1 週~第 30 週累計)

		(2	1010 -	ו מל ד	Min 2	, טט ק	ピポロ	,																	
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大 腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス 症	オウム病	回帰熱	コクシジオイ デス症	ジカウイルス 感染症	重症熱性血小 板減少症候群	チクングニア 熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝 炎
累積報告数	13672	3	73	1302	29	8	247	196	12	4	4	2	7	36	4	86	188	100	2	30	3	787	7	664	150
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類							
疾病名	カルバベネム 耐性腸内細菌 感染症	急性脳炎	クリプトスポリ ジウム症	クロイツフェル ト・ヤコブ病	劇症型溶血性 レンサ球菌感 染症	後天性免疫不 全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフ ルエンザ菌感 染症	侵襲性髄膜炎 菌感染症	侵襲性肺炎球 菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプト コックス症	破傷風	バンコマイシ ン耐性陽球菌 感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシ ネトパクター感 染症							
累積報告数	795	504	6	97	313	813	38	201	28	1701	179	2428	73	69	29	92	16	21							

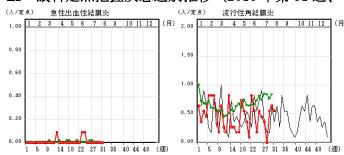
青森県 (2016年第1週~第31週累計)

分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性 大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	デング熱	つつが虫病	レジオネラ症		カルバペネム 耐性腸内細菌 感染症			劇症型溶血性 レンサ球菌感 染症	後天性免疫不 全症候群	侵襲性肺炎球 菌感染症	水痘(入院 例)	梅毒
累積報告数	178	2	5	3	1	5	3	2	. 9	1	2	2	1	6	3	9

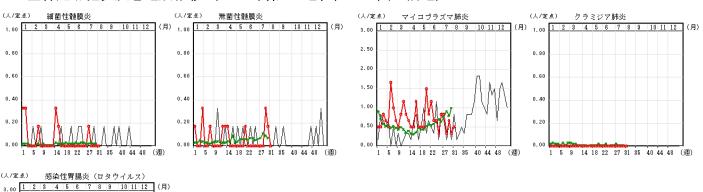
WII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移(2016 年第31 週、但し全国は前週)



IX 眼科定点把握疾患週別推移(2016年第31週、但し全国は前週)



X 基幹定点把握疾患週別推移(2016年第31週、但し全国は前週)





XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎(疑い含む)の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」(平成 18 年 2 月 2 2 日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知)に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎(疑いを含む)の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成28年第31週 報告はありませんでした。

平成28年報告件数及び発症者数

	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	計
施設種別		1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-21週	22-25週	26-30週	31週	(施設別)
介護·老人福祉関係施設	件数	0	3	1	2	2	0	0	0	8
月 6 名人福祉民际心故	発症者数	0	84	13	45	30	0	0	0	172
児童·婦人関係施設等	件数	0	2	0	0	2	1	0	0	5
九里	発症者数	0	26	0	0	39	26	0	0	91
障害関係施設	件数	0	0	1	2	0	0	0	0	3
卢吉 闵标旭改	発症者数	0	0	11	34	0	0	0	0	45
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他地設	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	0	5	2	4	4	1	0	0	16
部(月別)	発症者数	0	110	24	79	69	26	0	0	308